



写真は市議会ホームページから(6日)

### 定例議会 一般質問

定例議会は5～7日に一般質問が行われました。8日から  
は決算・予算委員会及び常任委員会です。小菅市議は以下  
の一般質問をしました。

### 高齢者住宅の家賃補助制度廃止をやめよ！

高齢者世帯の居住の安定を図るため家賃補助を行う「高齢者向け優良賃貸住宅制度」があります。しかし、野洲市は「この制度の期限は20年間」として来年3月で終了する」と入居者に通知しました。こんなことになれば年金暮らしの高齢者の家賃が約月2万円・年間20～30万円も負担が増え、暮らしが脅かされます。

小菅市議は「当初期間20年の制度であるが、県市が延長すれば、さらに20年間の延長可能な制度である。暮らしがこんなに大変な時、年間20～30万円もの負担増は許されない。市政のあり方が問われており、制度の延長をすべき」と求めました。市は答弁で「高齢者施策の公平性の観点から終了する」として、これまで自ら実施してきた制度をも否定しながら廃止を強行するとしました。

### 医療費助成は県が責任を持って拡充すべき

県が「16～18歳までの医療費無料化」案を公表。。ところが、「6～15歳は市町が実施」としています。しかし、6～15歳までは市町間で助成年齢に違いがあります。

一方、精神障がい者助成では、1級については全ての診療科で無料化を滋賀県が方向を出しました。しかし、2級は精神科だけで他診療科は対象外としています。

小菅市議は「県が全ての県民等しく責任を持つべき。市長は知事に申入れるべき」と求めました。しかし、市長答弁では、拡充の必要性については認識を示しましたが、県への申し入れは消極的でした。

### 市長は紙の保険証存続を国に申入れすべき

現在の「紙の保険証を廃止」して、マイナ保険証移行を強行しています。そもそもマイナンバーカードは「任意」。加えて相次ぐトラブルで重大な問題が多発しています。世論調査でも「保険証廃止反対、紙の保険証存続」が多数です。小菅市議は、「市民の命と健康にかかわることであり、市長は国に保険証の存続を申し入れるべき」と求めました。しかし、市長は「法にのっとり推進する。申し入れることは考えていない」と、市民の願いとは、かけ離れた答弁でした。



### 総合計画 の見直し

## まちづくりにとってこんな大事なことを 少数委員・短期間で方向決定？

**7人の委員で、審議はわずか2回**  
今回の見直しは、これまでの2地域に加え、総合体育館周辺を新たに拠点に加えるもので、総

**総合計画の根幹に関わる見直し**  
総合計画は野洲市の土地利用を定める「最上位計画」です。今回の「見直し」は、現計画の土地利用の地域拠点は、野洲駅周辺と北部合同庁舎周辺の2地域を設定し、野洲市全体のまちづくりを進める計画でした。

7月2日付「やす民報」で掲載しました。総合体育館周辺を新たな土地利用の拠点することを報道しましたが、「なぜ？。唐突ではないか」など市民から疑問が寄せられています。今定例会の一般質問でも他議員から経過を問う質問がされました。



大きな反響がよせられた  
計画見直しを報道した「やす民報」

## やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2023年9月10日 No.499

市政・市議会へ  
ご意見ご要望を  
お寄せください

- 小菅康子 比江 668-3 (電話・FAX) 589-4971
- 工藤義明 小篠原 879 (電話・FAX) 588-1856
- 野並享子 北野 1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
- 東郷正明 比江 864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党野洲市委員会が見解を発表しましたのでお知らせします

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索